

希望の鐘

第190号

ひとつのつぼみはいちどしかひらかない

夏休み中は事故非行なく、2学期を迎えることができました。この夏休みは前半は暑い日が続きましたが、お盆前後から過ごしやすいい日々が続き、例年に比べ、体調も整えやすかったのではないのでしょうか。2学期はこの夏休みに培った実力を発揮する学期です。毎日の生活を始め、学習や3大行事等に主体的に取り組むことにより、自分の居場所を見つけ、自己存在感、自己肯定感を高めていってほしいと思います。コロナで制限されることが多くありますが、できる範囲で、最大限の力を発揮してほしいと思います。2学期は皆さんにとってチャレンジできるチャンスがたくさん用意されており、「自分を鍛える時」でもあります。一層の努力と飛躍を期待しています。

次に始業式で行われた各学年代表の意見発表の原稿を載せます。ご一読ください。

○1年●組 ●●●●

33日間の夏休みが終わりました。例年のように、外出して、夏らしい楽しみを満喫することができず、残念な気持ちもありましたが、その分、勉強や部活動に、じっくりと取り組めた夏休みでした。特に部活動でバレーボール部では、秋季大会に向けたフォーメーションを組んだ練習が始まり、自分たちでも「もっとこうしよう」などと声を掛け合えることが増えてきました。夏休みの頑張りを試すことができる2学期の生活や秋季大会が今からとても楽しみです。

2学期の初めに当たって、1学期の自分たちの生活を振り返ってみました。中学校生活に慣れることに必死だった入学当初。慣れてくると、今度は生活にだらしなさが見えてきました。提出物やあいさつ、授業中の無駄話など、先生方に注意されることもたくさんありました。そのたびに学級で話し合ったり、学プロで取り組みを実施したりして、少しずつですが、改善することができたと思います。

自分自身の1学期を振り返ると、室長として自分の立場や役割を考え、一生懸命活動してきたつもりですが、上手くいくことよりも思った通りに行かないことのほうが多くありました。自分一人ではできることは少ないこと、逆にみんなと協力することで、できることの幅が広がり、スピードやクオリティが上がるということを学びました。

これらの反省を踏まえ、僕が2学期、学年として頑張りたいと思っていることは、「積極性」と「協力」です。1学期に呼びかけてきた、学校生活の基本をしっかりとすることは引き続き努力し、さらにレベルアップを目指します。課題の一つは「積極性」でした。1学期の1年生は、あいさつが特定の人ばかり聞こえてきたり、授業中も発表する人が決まった人ばかりだったり、みんなでも何かをやるとうとするときに、周りの様子を見て、誰かがやりださないやらない人が多かったりと、積極性が足りない場面が多かったと思います。2学期はこの「積極性」を改善していくような取り組み、呼びかけをしていきたいと思っています。2学期に控えている3大行事において、軍の団結や勝利、合唱の完成、文化祭の成功には、「積極性」そして1学年が「協力」して一つになることこそが不可欠だと思います。まだわからないことが多くありますが、先輩方の話をよく聞いて、姿を見て、学んでいきたいと思っています。そして、1学期に成長できたことを活かして1年生らしく元気に、一生懸命取り組んでいきたいと思っています。

○2年●組 ●●●●

私が2学期に向けて頑張りたいことは勉強と部活動です。私は、夏休み前のワークを2回以上繰り返し解くという計画を立てました。各教科の夏休みのワークを繰り返し解くようにすることで、自分が苦手なところや曖昧に覚えているところを明確にして、理解を深めたり、勉強を習慣づけ、力をつけたいと思います。なぜなら、普段学校で出された宿題などを2回以上解くようにすることで、理解力が高まり頭に入りやすくなり、成績アップにつながったという実感があったからです。

部活動について、2学期頑張りたい目標は、部全体の団結を高めることです。団結力を高めるために私は部員全体をまとめられるような部長になりたいです。そのためにまずは、自分から積極的に声を出すようにすることで、部活動での集中力を高めたり、雰囲気作りを頑張りたいです。

自分の技術力向上の目標としては、相手のすきを見極めてそこにボールを打ち込めるようにすることです。そのためには、毎日の部活動での基本打ちなどで、フォームを意識して練習することです。相手に振り回されたり、速いボールを打たれたり、取りにくいボールがきても、フォームがしっかりしていれば、そのボールにあわせて自分が狙ったところに打ち返すことができるようになるからです。したがって、毎日の練習でもボールを粘って取り続けたいです。

勉強でも部活動でも毎日目標をもって意識して自分を高めていきたいです。また、2学期は体育祭や文化祭などの多くの行事があります。私は、2学年プログラム委員として、学年全体が積極的に取り組めるよう、自分自身も前向きに企画・運営に携わっていきたいと思います。

○ 3年●組 ●●●●

いよいよ今日から2学期が始まります。2学期は体育祭や文化祭、合唱発表会など、学級や学年だけではなく、全校で団結できる行事がたくさんあります。最上級生として、後輩たちをしつかりリードしていくためにも、私は3学年の集団としての課題は何か、これから何を意識して生活していくべきかを考えました。

私たち3学年は、みんな穏やかで優しく、互いに思い合える、とても仲の良い学年です。それが私たちの自慢でもあります。しかし、夏休み前の学年集会で、先生に「3学年の課題の一つは、優しさゆえの甘さだ」と指摘されました。確かにこれまでを振り返ってみると、修学旅行や普段の生活の中で、ちょっとしたルール違反を「バレなきゃいいか」とやっちゃったり、それに気づきながらも「これくらいまあいいか」と注意しなかったり、ということが度々ありました。私たちの長所である「優しさ」が、自分や仲間への「甘さ」という欠点につながってしまっていたのだと気づきました。仲の良い関係の中でもダメなときは注意し合ったり、注意されたら反発するのではなく、相手の言葉を受け止め、振り返って次へつなげていったりすることも必要だと思います。自分を大切に、仲間を心から思いやるために、時には厳しさをもつことも優しさなのだと思いました。

また、行事をリードするにあたり、しっかりと準備も必要だと考えました。私は学プロに所属しているのですが、学年行事の運営の際に、準備が足りなくてグダグダになってしまうことが度々ありました。実際の行事の時間は、数十分から1時間でも、その時間をみんなに思いっきり楽しんでもらい、より充実したものにするためには、何倍もの準備の時間が必要だと気づきました。体育祭は、私たち3年生が全学年をまとめなければならないので、後輩たちに楽しんでついてきてもらうためにも、時間を惜しまず念入りに準備したいです。

最後に、私たちは学校をリードする最上級生であると同時に、受験生でもあります。学校行事で忙しい2学期ですが、自分の志望校を決定する大切な学期でもあります。自分の将来とじっくり向き合い、時には厳しさをもって互いを高め励まし合い、全員の進路実現に向けて努力していきたいです。

新型コロナ緊急対策にご理解・ご協力を

新聞やテレビの報道などですすでにご存じであると思いますが、新型コロナウイルス感染拡大を受け、青森県は8月27日、9月1日から9月30日の期間で集中的に実施する緊急対策を発表しました。これにともない、県内でも感染拡大が著しい八戸市では、県の方針に則った方策を進めることになりました。期間は同じ9月1日から9月30日まで、中学生に関することとして

- 1 市立小中学校の部活動禁止
- 2 学校行事の中止または延期
- 3 市有施設の閉鎖、使用中止

等が挙げられます。1について、9月開催予定の市中体秋季大会の開催の有無に関しましては、現在のところ、何も決まっておられません。決定次第、連絡させていただきます。2については、避難所運営訓練の中止及び、文化祭に向けての地域の方々からのえんぶり、虎舞の指導が受けられなくなりました。3については、本校体育館の夜の施設開放ができなくなります。

8月24日付け「夏季休業後における新型コロナウイルス感染症防止対策の徹底について」でもお願いしましたが、

- ・健康観察票への毎日の体温記入の継続と、登校前のお子様の健康観察の徹底・健康状態の把握
 - ・軽微なかぜ症状の場合でも平常と体調が異なる場合は登校を控えさせる（出停扱い）
 - ・生徒本人だけでなく、同居家族にかぜ症状がみられる場合も、登校を見合わせる（出停扱い）
- 等の対応をお願いいたします。できればもう一度、8月24日付け「夏季休業後における新型コロナウイルス感染症防止対策の徹底について」のご確認をお願いします。